

提出先：白井先生

学績番号：1323086

提出者：塚村 祐未

見学日：2015年12月24日



## えのすい×TeamLab見学レポート

2105年12月24日に新江ノ島水族館に訪れて「ナイトワンダーアクアリウム」と見学してきました。ちょうどクリスマスということもあり、それに関連した展示内容に変わっている部分もあったので紹介したいと思います。



様々な展示があり、その中でも気になったもの、感動したものに焦点を当てて紹介したいと思います。

最初は「ウミガメの夢～海からのプレゼント～」というものです。砂場に直接サンドアートで描かれたウミガメの話を投影していました。この日、自分が一番最初にみたTeamLabの展示であったのと周囲との雰囲気が一番印象に残っている展示でした。実際にこのサイズの砂場に投影するとなると多くの準備が必要なんだろうなとか考えながら鑑賞していました。また、この展示は上からみるのしかできないのですが、下通路からもどんなのが投影されているのかがわかるように横の壁にも投影してあったことが印象的でした。

次にみたのが「インタラクティブオーシャンバー」というものです。実際は「ウミガメの夢」とほぼ同時に見たのですが、それがTeamLabのものと気がつかなかったので2番目となりました。椅子や通路の天井といった部分が購入したカクテルの色によって変化するというものだったのですが、自分はその日の交通手段の関係で飲むことができなかったため、全く見知らぬ人がカクテルを買って通路の色が変わるのに粘っていました。実際に通路の色が変わったときは感動でしたし、どんなものなのか売り場を見ていると氷が光っていたりしておもしろそうだと感じました。

「海月の宇宙（そら）～クリスマス～」では、海月の展示スペース全体を使ったプロジェクションマッピングが行われていました。説明されている海月のリアルな映像のほか、説明されている海月の水槽を強調する演出が印象深かったです。また、新江ノ島水族館の海月飼育の歴史や海月の生態等の紹介も映像でなされていたのが印象的でした。見学したのがクリスマスイブということもあり、内容がクリスマスに因んだものになっていました。

最後に「花と魚一相模湾大水槽」について紹介したいと思います。事前にどんな展示を行っているのか予習していこうと思い検索したところこの展示が一番大きく取り上げられていました。実際に目にするまではどんなものなのか漠然としかわかりませんでした。実際に見るととても大きな作品でした。水槽内に泳ぐ魚に花が投影されたり、魚が水槽の端から、投影範囲外にでるときに魚の速度や向きによって水槽の周りに投影されている花や光の粒が動いていることに気づきました。当日のアナウンスによると見れる絵は、そのときだけであり、二度と同じ絵は見れないということ。たしかに、魚の動きに合わせて投影されているのであれば同じものは見れないなと感心しました。

最後に「チームラボカメラ」というものを紹介したいと思います。ディスプレイの前に立ち、画面の指示に従って操作すると写真が撮影され、Facebook上にアップロードされるというものでした。自分がフレームとして洗濯したのは「花と魚一相模湾大水槽」ですが、その他にも用意されておりそれぞれに仕掛けが用意されていたようです。自分はどのタイミングでシャッターを切られるのかわからず仕掛けで遊んでいたときにシャッターを切られてしまったのでとても情けない感じで写っていますが、とても面白い展示だったと思います。

